

「藤沢市の環境」と「地球温暖化対策」に関する  
アンケート調査結果報告書

2021 年（令和 3 年）7 月



## 第1章 アンケート調査概要

### 1 調査目的

市民・事業者の環境に関する意識を把握するため、アンケートを通じて調査を実施しました。

### 2 調査内容

調査の内容は、表 1-1 のとおりです。

表 1-1 調査内容

	市民	事業者
調査対象	市内に在住する 満 18 歳以上の男女 (3,000 人)	市内の事業者 (500 社)
実施方法	郵送配布・郵送回収による 郵送調査法及び Web 調査	郵送配布・郵送回収による 郵送調査法及び Web 調査
調査期間	2021 年 5 月 22 日 (土) ~ 6 月 11 日 (金)	
回収率	51.4% (1,543 人/3,000 人)	42.8% (事業所 214/500 事業所)

## 第2章 アンケート調査結果（市民編）

問1 あなたご自身のことについてお尋ねします。あてはまる番号を○で囲んでください。（それぞれ1つ選択）

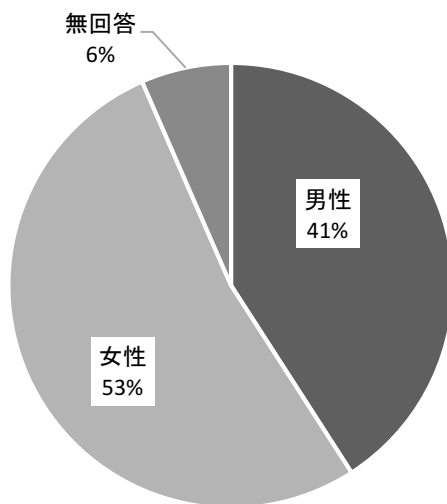


図 2-1 性別

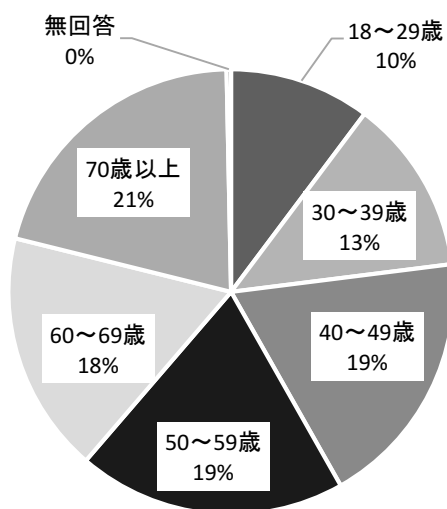


図 2-2 年齢

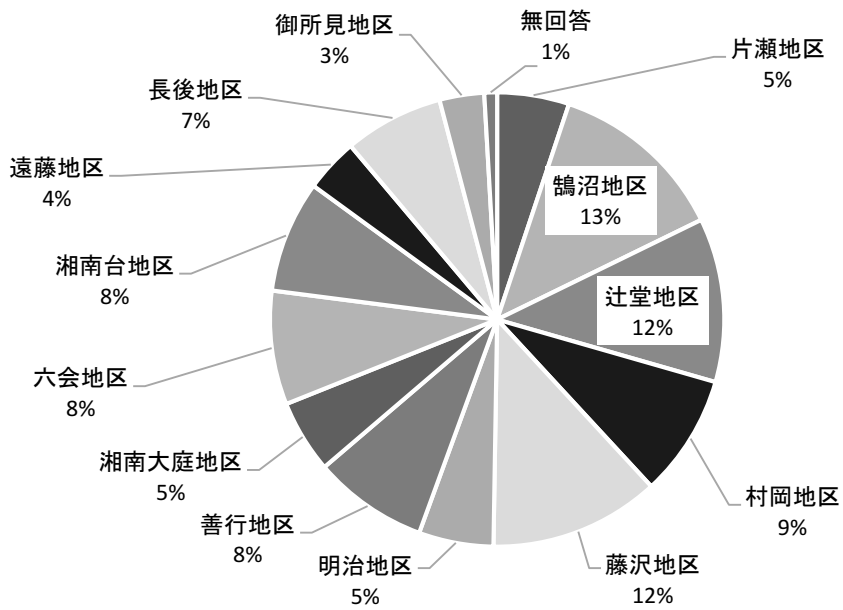


図 2-3 居住地域

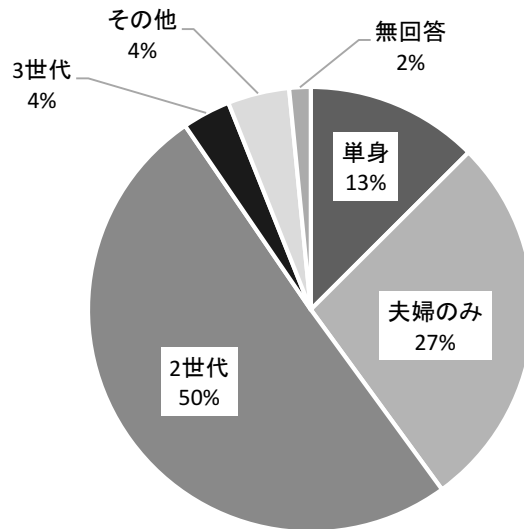


図 2-4 家族構成

「その他」回答内容

内容
4 世代
5 世代
友人と同居
同棲
兄弟・姉妹
親戚夫婦と同居
夫婦と両親、兄弟が同居 など

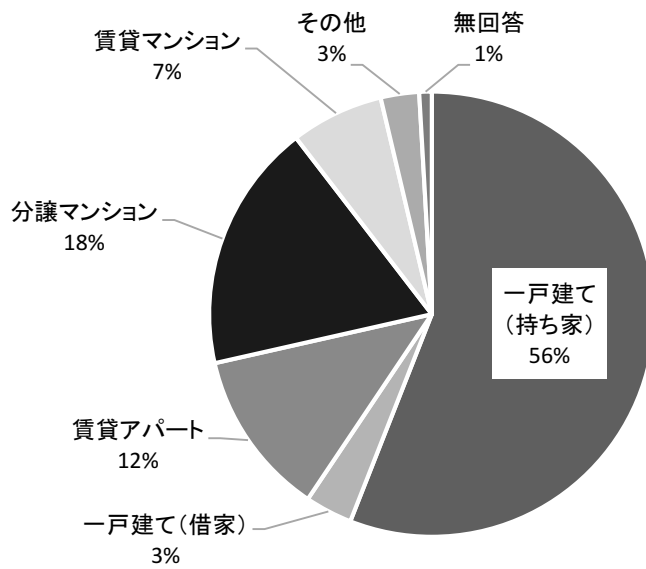


図 2-5 居住形態

「その他」回答内容

内容
UR
公営住宅
団地
社宅
寮
賃貸ビル
テラスハウス
老人ホーム
サービス付高齢者向け住宅 など

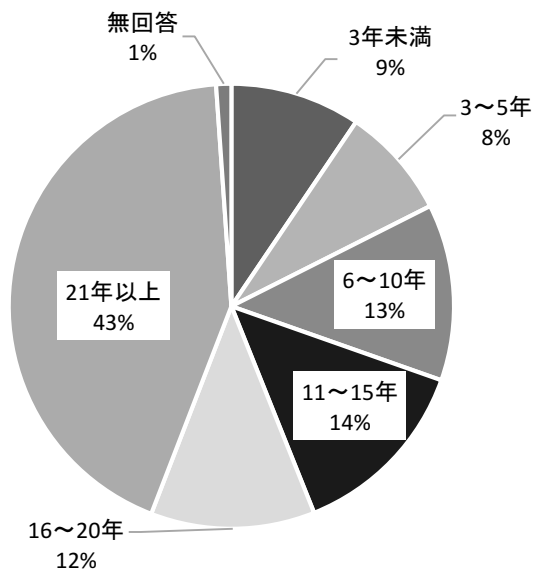


図 2-6 居住年数

問2 藤沢市の環境に関する各項目について充実希望度・現時点の満足度についてお尋ねします。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

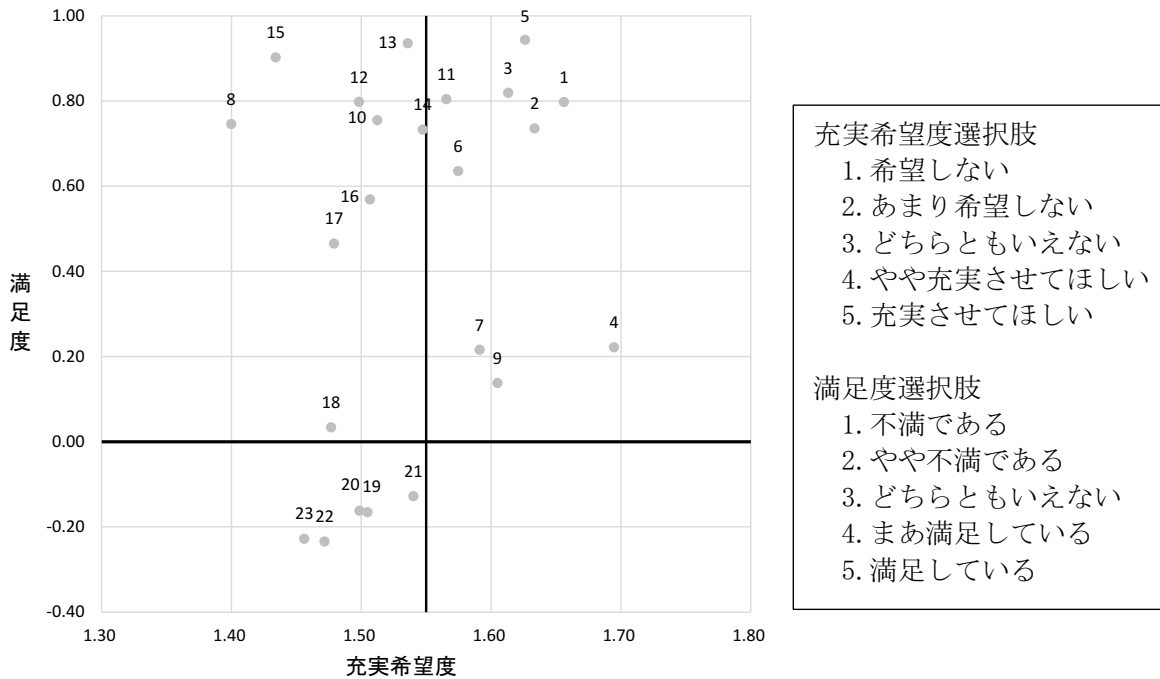


図2-7 環境に関する充実希望度・満足度

表2-1 環境に関する充実希望度・満足度

番号	項目	充実希望度	満足度
1	大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	1.66	0.80
2	土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	1.63	0.74
3	豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	1.61	0.82
4	水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	1.69	0.22
5	放射性物質による環境汚染がなく、生活環境が保全されている	1.63	0.94
6	廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	1.57	0.64
7	家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	1.59	0.22
8	エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	1.40	0.75
9	騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	1.60	0.14
10	公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	1.51	0.76
11	藤沢ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	1.57	0.80
12	安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	1.50	0.80
13	水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	1.54	0.94
14	多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	1.55	0.73
15	文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	1.43	0.90
16	学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	1.51	0.57
17	より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	1.48	0.47
18	地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	1.48	0.03
19	環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	1.50	-0.17
20	エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている	1.50	-0.16
21	環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	1.54	-0.13
22	市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている	1.47	-0.23
23	地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	1.46	-0.23

充実希望度：希望しない=-2、あまり希望しない=-1、やや充実させてほしい=+1、充実させてほしい=+2  
 満足度：不満である=-2、やや不満である=-1、まあ満足している=+1、満足している=+2として平均値を算定

## 【前回調査結果との比較】

### ・充実希望度

充実希望度は前回調査結果と比較して、全体的に低くなっていますが、全ての項目で、充実希望度は1.40以上と依然として環境における充実希望度は高い状態にあります。

### ・満足度

満足度は前回調査結果と比較して、低くなっている傾向にありますが、「放射性物質による環境汚染がなく、生活環境が保全されている」、「文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている」などにおける満足度が高くなっています。

番号	項目	充実希望度		満足度	
		2021年度	2016年度	2021年度	2016年度
1	大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	1.66	1.74	0.80	0.89
2	土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	1.63	1.70	0.74	0.90
3	豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	1.61	1.70	0.82	0.99
4	水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	1.69	1.74	0.22	0.41
5	放射性物質による環境汚染がなく、生活環境が保全されている	1.63	1.78	0.94	0.85
6	廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	1.57	1.63	0.64	0.93
7	家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	1.59	-	0.22	-
8	エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	1.40	-	0.75	-
9	騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	1.60	1.71	0.14	0.10
10	公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	1.51	1.59	0.76	0.88
11	藤沢ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	1.57	1.58	0.80	0.92
12	安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	1.50	1.62	0.80	0.86
13	水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	1.54	1.60	0.94	0.98
14	多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	1.55	1.62	0.73	0.69
15	文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	1.43	1.51	0.90	0.75
16	学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	1.51	1.63	0.57	0.60
17	より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	1.48	1.64	0.47	0.54
18	地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	1.48	1.66	0.03	0.09
19	環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	1.50	1.61	-0.17	-0.10
20	エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている	1.50	1.60	-0.16	-0.30
21	環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	1.54	1.68	-0.13	-0.20
22	市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている	1.47	1.62	-0.23	-0.07
23	地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	1.46	1.62	-0.23	-0.32



問3 節電や省エネ行動として望まれる次の各行動についてお尋ねします。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。該当する機器を保有していない等の場合は、「該当しない」に○をつけてください。



図 2-8 省エネ行動の実践状況

### 【前回調査結果との比較】

節電や省エネ行動の実施状況は前回調査と比較して、全体的に実施割合が低下している傾向にあります。「マイカーの使用を控え（ノーカーデーの推進）、できるだけ公共交通機関や自転車を利用している」、「エコドライブを実践している」、「「ごみ減量推進店」を積極的に利用したり、買い物にはマイバッグを持参したりしている」については、前回調査結果よりも実施率が増加しています。

番号	項目	「ときどき」または「はい」の割合	
		2021年度	2016年度
1	エアコンなどの冷暖房の使用は最小限を心がけている	92%	93%
2	エアコンを使用する時は、設定温度をこまめに調節している	86%	89%
3	ガスファンヒーターや石油ファンヒーターを使用する時は、設定温度を低めにしている	50%	52%
4	電気こたつや電気カーペットを使用する時は、設定温度を低めにしている	57%	60%
5	人のいない部屋の照明はこまめに消している	97%	98%
6	テレビを見ていない時は消している	93%	94%
7	使わない電気製品はプラグを抜いている	59%	61%
8	冷蔵庫にものを詰め込みすぎないようにしている	82%	86%
9	季節によって冷蔵庫の温度を変えている	38%	45%
10	食器を洗うときは低温に設定している	68%	71%
11	入浴は間隔をあけずに行っている	64%	64%
12	シャワーは不必要に流したままにしないようにしている	90%	94%
13	マイカーの使用を控え（ノーカーデーの推進）、できるだけ公共交通機関や自転車を利用している	55%	54%
14	エコドライブを実践している	64%	61%
15	ゴミゼロクリーンキャンペーンや1日清掃デー、ふじさわ環境フェアなどの市の事業に参加している	30%	33%
16	「ごみ減量推進店」を積極的に利用したり、買い物にはマイバッグを持参したりしている	93%	88%
17	エコマーク付き商品など、環境にやさしい製品を購入するようにしている	66%	67%
18	ごみの減量に努めている	89%	91%
19	資源とごみを基準に従い分別している	99%	99%
20	「環境ポータルサイトふじさわエコ日和」の「エコライフチェック」や「ふじさわエコライフハンドブック概要版」を活用している	28%	33%

問4 問3で「いいえ」と回答した項目が1つ以上あった方にお尋ねします。取り組めていない理由について、最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

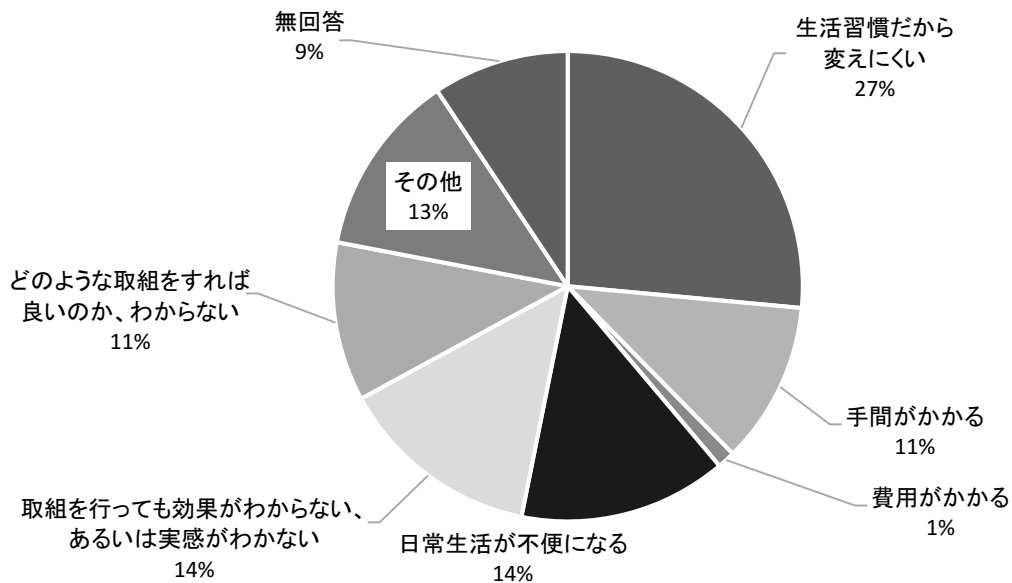


図 2-9 省エネ行動に取り組めていない理由

「その他」回答内容

内容
家族と生活時間帯がちがう
病人、老人がいるため細かな調節が難しい
意識していなかったまたは気にしたことがなかった
知らなかったので実践していない
これまで意識が低かったことをこのアンケートで認識できた
そうした取組をした方が良い事に気が付かなかった
対策が節電/省エネに貢献することを知らなかった
熱中症対策のためエアコンをつけっぱなしにしている
労力のわりに効果が小さいため
子供が多いので移動が大変ため
コロナ対策のため自家用車で通勤しているため
ゴミゼロクリーンキャンペーンや1日清掃デー、ふじさわ環境フェアなどの市の事業を知らなかったもしくは開催日がわからない
タイミングが合わずゴミゼロクリーンキャンペーンや1日清掃デー、ふじさわ環境フェアなどの市の事業に参加できていない
「環境ポータルサイトふじさわエコ日和」の「エコライフチェック」や「ふじさわエコライフハンドブック概要版」の存在を知らなかった など

### 【前回調査結果との比較】

節電や省エネ行動に取り組めていない理由は前回調査と同様に、「生活習慣だから変えにくい」が最も割合が大きくなっています。前回調査から項目を追加した「日常生活が不便になる」、「どのように取組をすれば良いのか、わからない」の回答割合は、14%、11%でした。

番号	項目	回答割合	
		2021年度	2016年度
1	生活習慣だから変えにくい	27%	38%
2	手間がかかる	11%	14%
3	費用がかかる	1%	1%
4	日常生活が不便になる	14%	-
5	取組を行っても効果がわからない、あるいは実感がわからない	14%	15%
6	どのような取組をすれば良いのか、わからない	11%	-
7	その他	13%	17%
8	無回答	9%	15%

問5 省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況についてお尋ねします。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

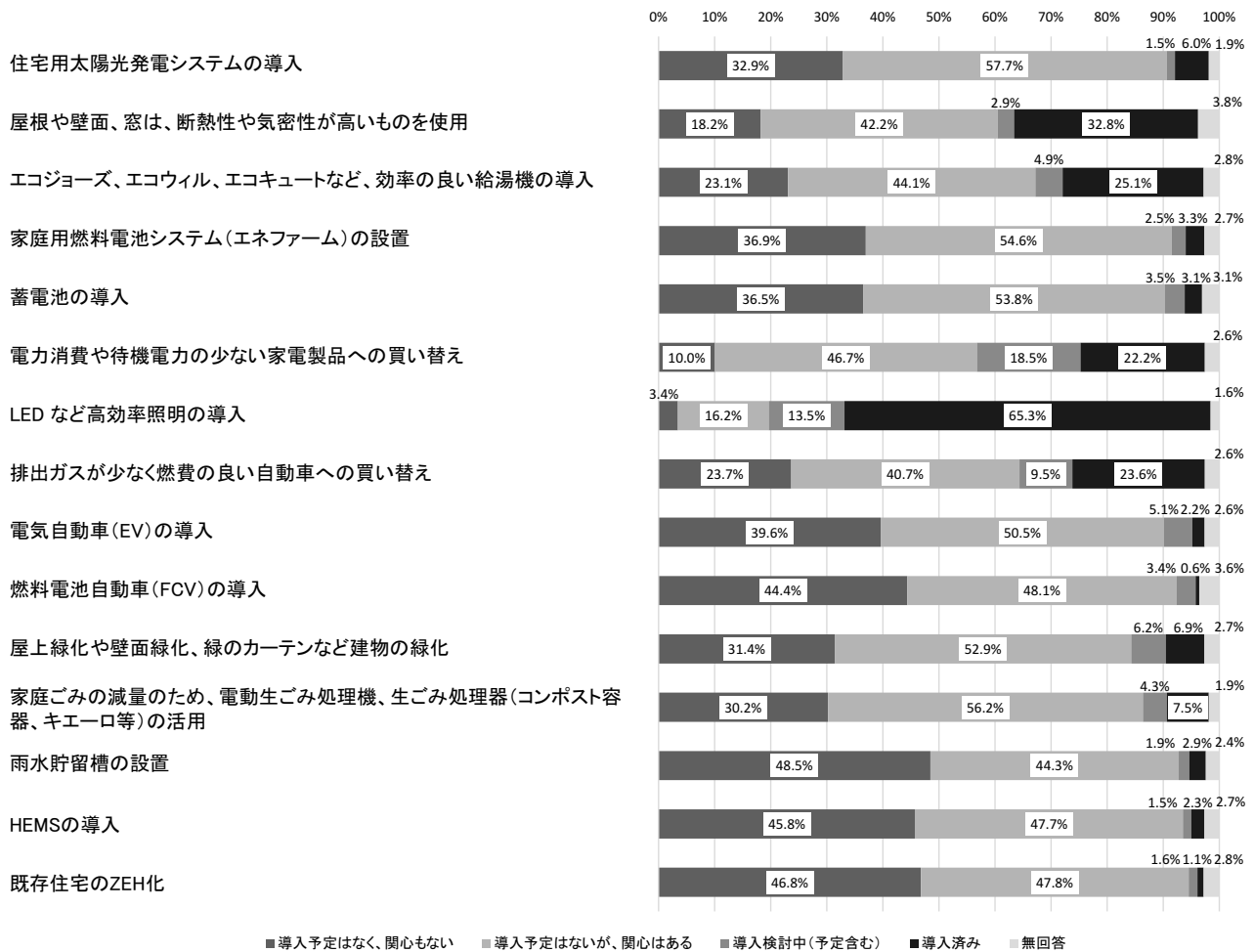


図 2-10 省エネ設備・再生可能エネルギーの導入状況

### 【前回調査結果との比較】

省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況は前回調査と比較して、全体的に導入済みの回答割合は増加している傾向にあります。「電力消費や待機電力の少ない家電製品への買い替え」「排出ガスが少なく燃費の良い自動車への買い替え」、「屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建物の緑化」、「家庭ごみの減量のため、電動生ごみ処理機、生ごみ処理器（コンポスト容器、キエーロ等）の活用」の回答割合は前回調査よりも低下していました。

番号	項目	「導入済み」の割合	
		2021年度	2016年度
1	住宅用太陽光発電システムの導入	6%	4%
2	屋根や壁面、窓は、断熱性や気密性が高いものを使用	33%	25%
3	エコジョーズ、エコウィル、エコキュートなど、効率の良い給湯機の導入	25%	21%
4	家庭用燃料電池システム（エネファーム）の設置	3%	2%
5	蓄電池の導入	3%	2%
6	電力消費や待機電力の少ない家電製品への買い替え	22%	24%
7	LED など高効率照明の導入	65%	61%
8	排出ガスが少なく燃費の良い自動車への買い替え	24%	29%
9	電気自動車（EV）の導入	2%	1%
10	燃料電池自動車（FCV）の導入	1%	0%
11	屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建物の緑化	7%	10%
12	家庭ごみの減量のため、電動生ごみ処理機、生ごみ処理器（コンポスト容器、キエーロ等）の活用	8%	11%
13	雨水貯留槽の設置	3%	2%
14	HEMSの導入	2%	1%
15	既存住宅のZEH化	1%	0%

問6 今後の藤沢市が行う様々な環境行政施策についてお伺いします。行政が、特に優先して取り組むべき施策は、何だとお考えですか。特にあてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

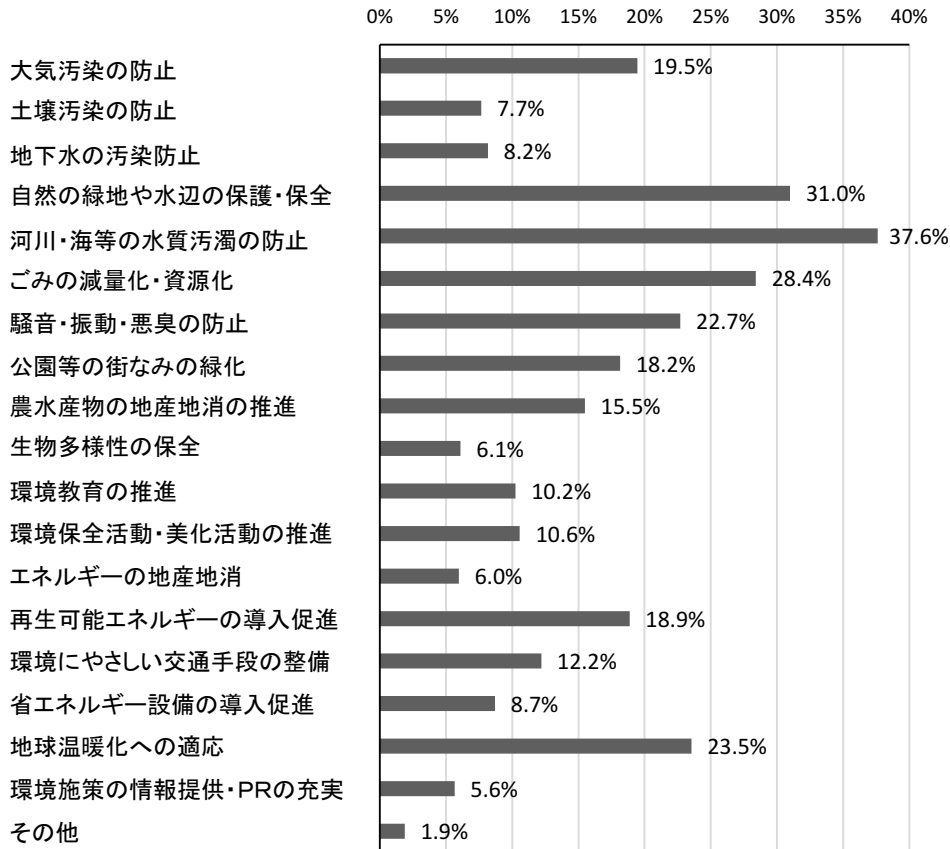


図 2-11 優先して取り組むべき施策

「その他」回答内容

内容
カーボンニュートラルに向けた具体的な取り組み
迅速な情報提供
公園を充実してほしい
ぼい捨て、歩きタバコの対策
田んぼの保全推進
電線の地中化推進
自転車専用の道路整備
急速なデジタル化による悪影響の対策
獣害対策
高齢者のゴミ出し方法の改善
食品ロス
海岸の美化
地球温暖化防止の為の一人ひとりの行動を具体的に示す事
宅地の小規模化防止と緑化強化
など

問7 気候変動の影響への「適応」についてお尋ねします。あなたはこの「適応」という言葉を知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

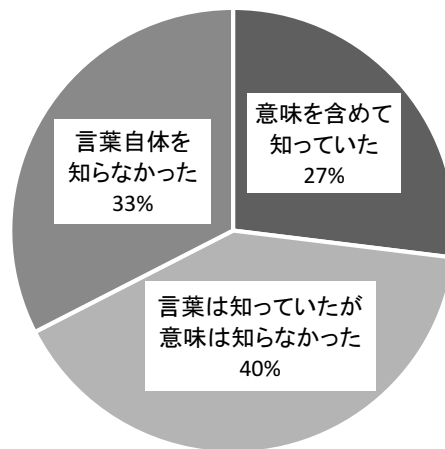


図 2-12 気候変動の影響への「適応」の認知度



問 8 藤沢市において既に温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

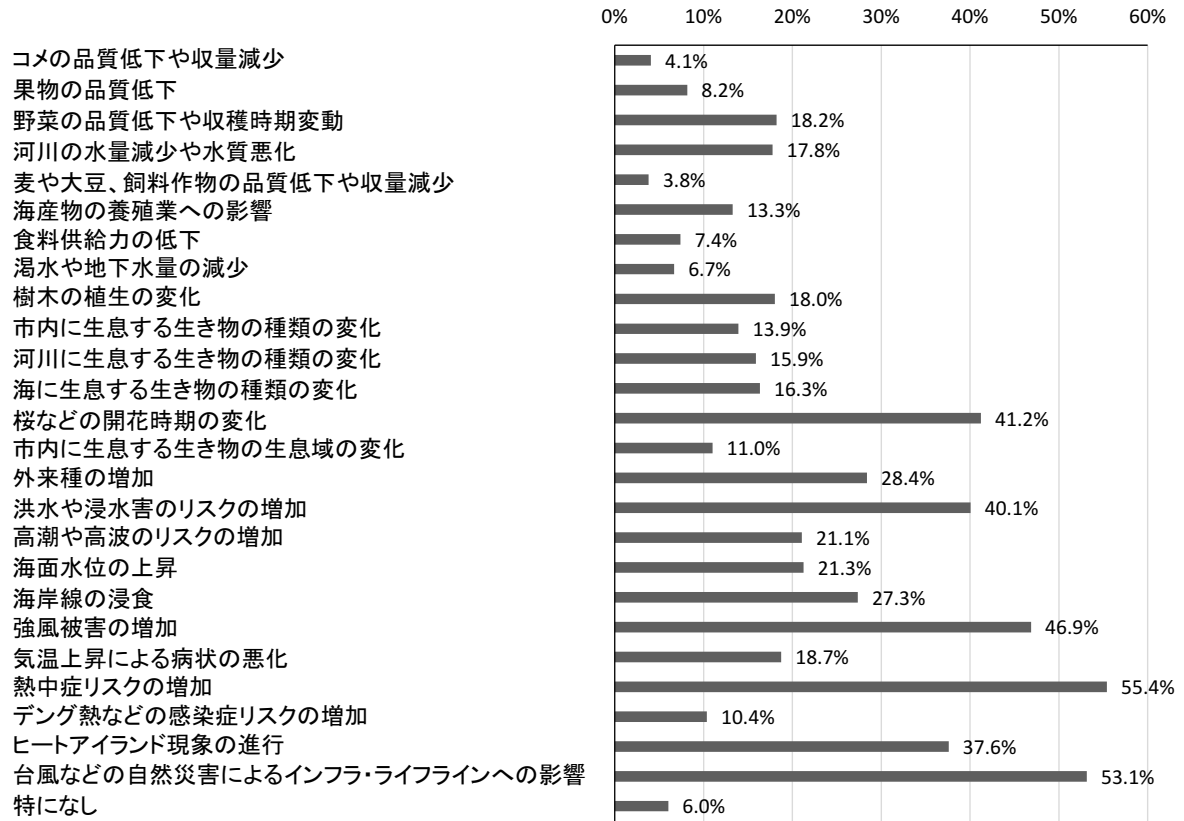


図 2-13 藤沢市における気候変動の影響

問9 藤沢市で今後、重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

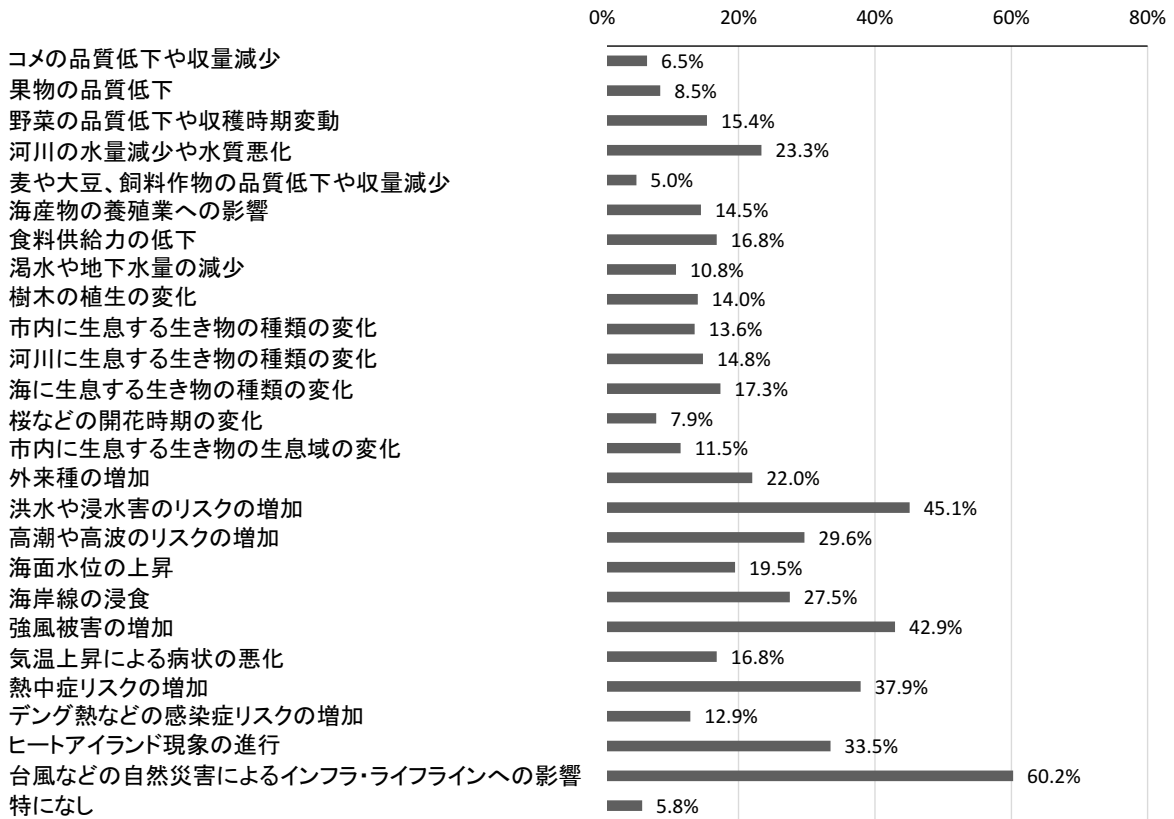


図 2-14 重点的に対策すべき影響

問 10 どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。最も当てはまる番号を 3 つまで選んで○で囲んでください。

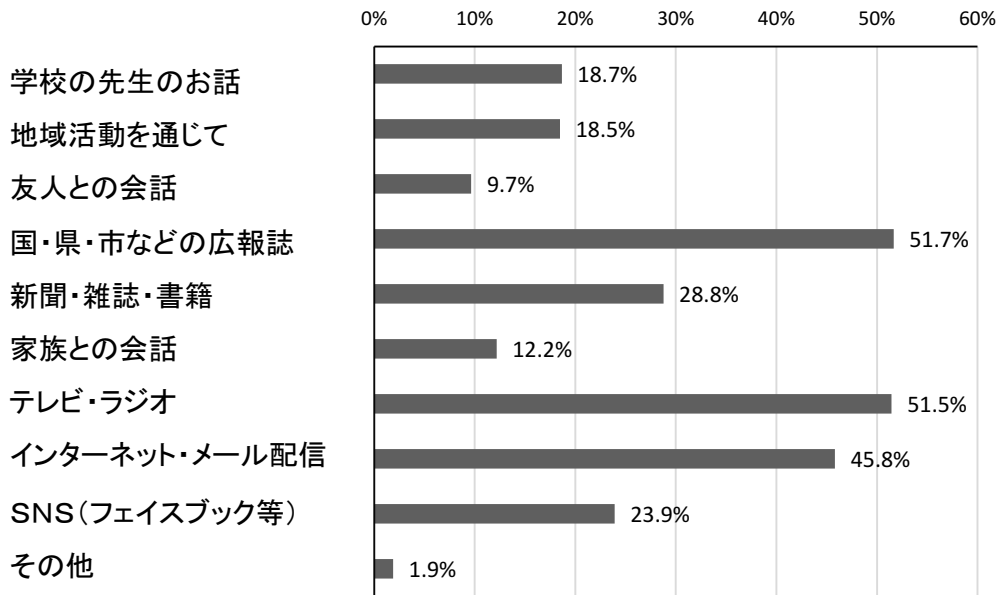


図 2-15 わかりやすい情報提供の方法

「その他」回答内容

内容
広報ふじさわ
市ホームページ
藤沢タウンアプリをインストールする事を義務として情報共有
自治会の回覧
公共の場でのポスター、サイネージ、電車等の広告
防災放送用のスピーカーによる告知
学校から大人への冊子を配られると目を通しやすいかも
Tik Tok
LINE
You Tube
など

問 11 最後に藤沢市の環境行政へのご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

※環境に関連する内容のみを抜粋し、要約した内容を記載しています。

### 回答内容

項目	内容
自然環境	これ以上開発しないでほしい
	市内の自然の豊かさを維持してほしい
	市内の緑化を進めてほしい
	芝生や緑の多い公園をもっと増やしてほしい
	野鳥を保護する環境がもっと増えると良いと思う
	外来種の対策を行ってほしい
	生物に配慮した河川整備を行ってほしい
	藤沢市内には農作物、海産物も多くあるので安定した生産をしてほしい
	マイクロプラスチックによる海洋汚染の対策に取り組んでほしい
	海岸や砂浜の美化対策を行ってほしい
資源循環	ゴミカレンダーに去年の環境についてのお知らせを入れてほしい
	宅配利用で使用済段ボールの量が増えたので、各家庭への回収に変えてほしい
	レジ袋など以外にもたくさんのプラスチックゴミがあるのに、なぜレジ袋等だけが悪いように言われているのか疑問に感じる
	プラスチックゴミを減らすことの重要性は理解できるが、発信の仕方に問題があると思う
	プラスチックごみを減らす取組を進めてほしい
	国の政策だがマイバッグなどのプラスチック削減は、あまり意味がないのでやめてほしい
	分別したごみの資源化が行われているか不透明なので開示してほしい
	ごみ分別収集の環境保全への効果などをPRしてほしい
	「おむつ回収ボックス」を設置してほしい
	ペットボトルや缶の回収箱を駅やスーパー、量販店に設置してほしい
	食品トレーをどうにかして欲しい
	藤沢市のごみ分別アプリがiOSで起動できない不具合があるので、バージョンアップしてほしい
	藤沢市のごみ袋の価格をもう少し安くして欲しい
	アンケート用紙の郵送は資源、郵送料、回収集計の手間など無駄が多いため、インターネットでの回答に一本化すべき
	アンケート用紙など再生紙などの環境に配慮した製品を使用してほしい
	生ゴミをコンポストなどの肥料として活用する取組を進めてほしい
	食品ロスの削減に向けて、フードドライブなどの取組を行ってほしい
農業では規格品外の廃棄野菜の有効活用や安く販売する施設を設置してほしい	
賞味期限切れ食料の有効活用を検討してほしい	
不法投棄	釣具や漁具、バーベキューごみなどの不法投棄対策を行ってほしい
景観	ごみのポイ捨て対策を行ってほしい
	ごみ置き場のカラス対策の強化を行ってほしい
環境教育	子ども達がSDGsに自主的に取り組めるようになる教育を進めてほしい
	子ども達に環境についての楽しいイベントがあればいいと思う
交通	車が無くても生活できるまち作りをしてほしい
	渋滞改善に向けての働きかけを行ってほしい
	低公害車などへの助成金などを行ってほしい
	自家用車の代わりに自転車や公共バスの利用を推進してほしい
	シェアサイクルなどを進めてほしい

項目	内容
災害対策	ハザードマップの充実と避難所の快適性の向上を進めてほしい
	災害時の高齢者や障害者の安否確認等の取り組みなどがあるのでしょうか
	今どき温暖化を信じている人は研究者では少ないので、公的機関も知識を深め、無駄な財政支出をやめてほしい
	地球温暖化への適応から減災、防災について多く取り組んでほしい
	強風対策を強化してほしい
	自然の持つ機能を活かしたインフラ整備を行ってほしい
	集中豪雨などによる河川の氾濫対策に万全を期してほしい
気候変動	蚊が多いので藤沢市で管理している雨水枡に対して蚊が発生しないような対策をしてほしい
	気温の変動による熱中症のリスクなど人々の健康について情報の発信を行ってほしい
	温暖化の影響で海面水位の上昇による砂浜の減少への対策を行ってほしい
温暖化対策	カーボンニュートラル都市宣言は良いが具体的な取り組みが全く見えない
	地球温暖化への対応について、補助金やインセンティブを上手く活用してほしい
	省エネ設備導入の補助金、太陽光発電の補助金を増やしてほしい
	補助金等の申請をネットで行えるようにしてほしい
	電気自動車の補助を進めてほしい
	燃料電池自動車（FCV）の活用を進めてほしい
	化石燃料から自然エネルギー活用への変換を進められる市政を行ってほしい
	化石燃料のエネルギー確保を図るよりも原発再稼働を推進してほしい
	街角に設置されている自動販売機の設置禁止による電力の削減を行ってほしい
	引地川沿いの風力発電、太陽光発電による街灯などの小さい発電設備を街なかになくさん設置してほしい
	太陽光・風力・潮力の発電率の向上をすすめてほしい
	商業施設等の空調設定温度の適切化を徹底するなどの温暖化対策を進めてほしい
	藤沢市民としてどのような温暖化対策を進めて行くのか、具体的に示してほしい
公害	車両からの排気ガス削減に向けた対策を行ってほしい
	補助金が使える雨水貯留槽の導入などもっと広く募集を行った方が良いと思う
	化学物質等における水質汚染の改善と監視を行ってほしい
	放射性物質を含んだ土を受け入れる計画・予定があるならばやめてほしい
	航空機騒音・近隣騒音・生活騒音・振動対策を行ってほしい
	浄化センターや工場などの悪臭対策を行ってほしい
	野焼きへの指導を行ってほしい
情報共有	動画などを使った“知識の大衆化”に取り組んでほしい
	多言語での情報の発信を増やしてほしい
	高齢者には回覧板も情報源となるため活用してほしい
	パソコンやインターネットをやらない市民もいるため告知の手段として広報誌と防災放送用のスピーカーの充実を図ってほしい
	なるべくわかりやすく身近な話で環境のことを教えてほしい
その他	市の取組が見えてこないので、情報提供やアピール方法を工夫してほしい
	市の取組を見える化してほしい
	藤沢市の行政にたずさわる全員の教育が必要と感じる
	科学的知見をしっかりと取り入れた政策を行ってほしい
	藤沢市が日本をリードする環境都市になることを目指してほしい
	環境ポイントカードとかあったらよいと思う
	環境対策にはお金がかかると思いますが、税金の増税はやめて欲しい
	環境問題と高齢化は市の行政に多大に影響を与えると考えられるので切り離さないで一体として取り組んでほしい
	脱原発を進めてほしい

### 第3章 アンケート調査結果（事業者編）

問1 貴事業所についてお尋ねします。当てはまる番号を○で囲んでください。

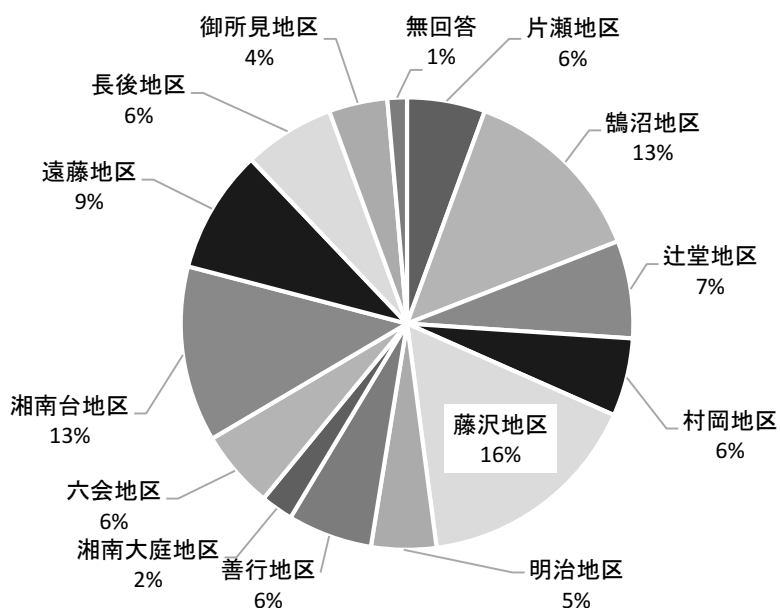


図 3-1 所在地域

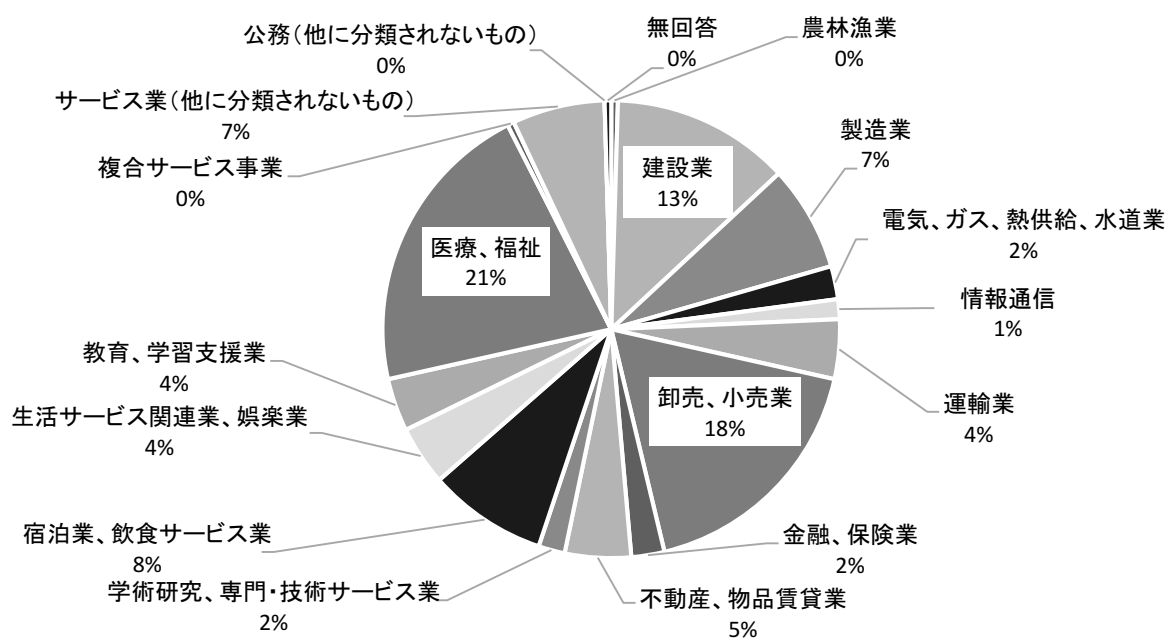


図 3-2 業種

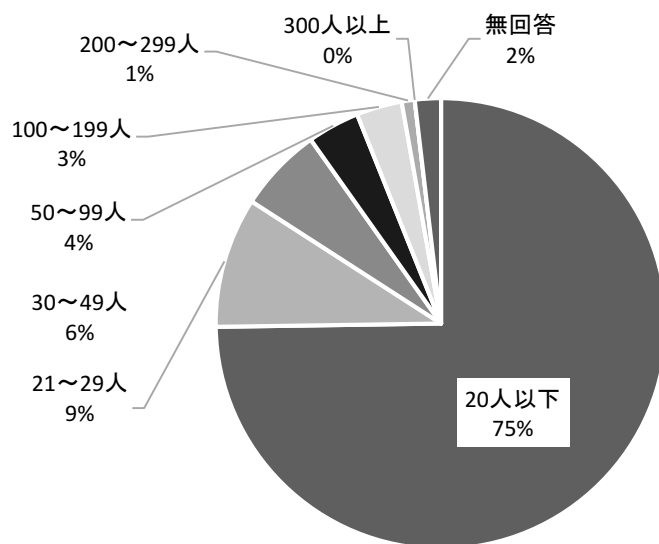


図 3-3 従業員規模

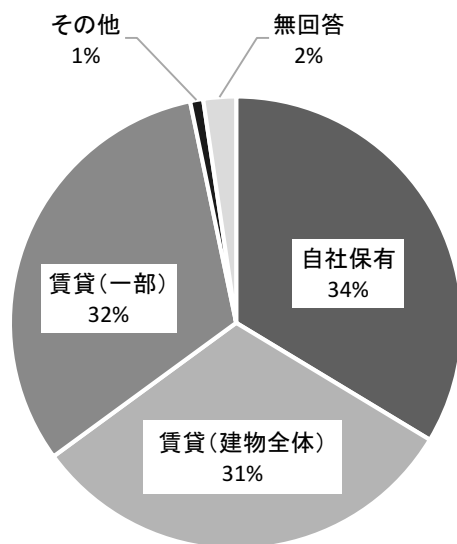


図 3-4 事業所の所有形態

「その他」回答内容

内容
自社保有建物と賃貸マンション
家族所有

問2 藤沢市の環境に関する各項目について充実希望度・現時点の満足度についてお尋ねします。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

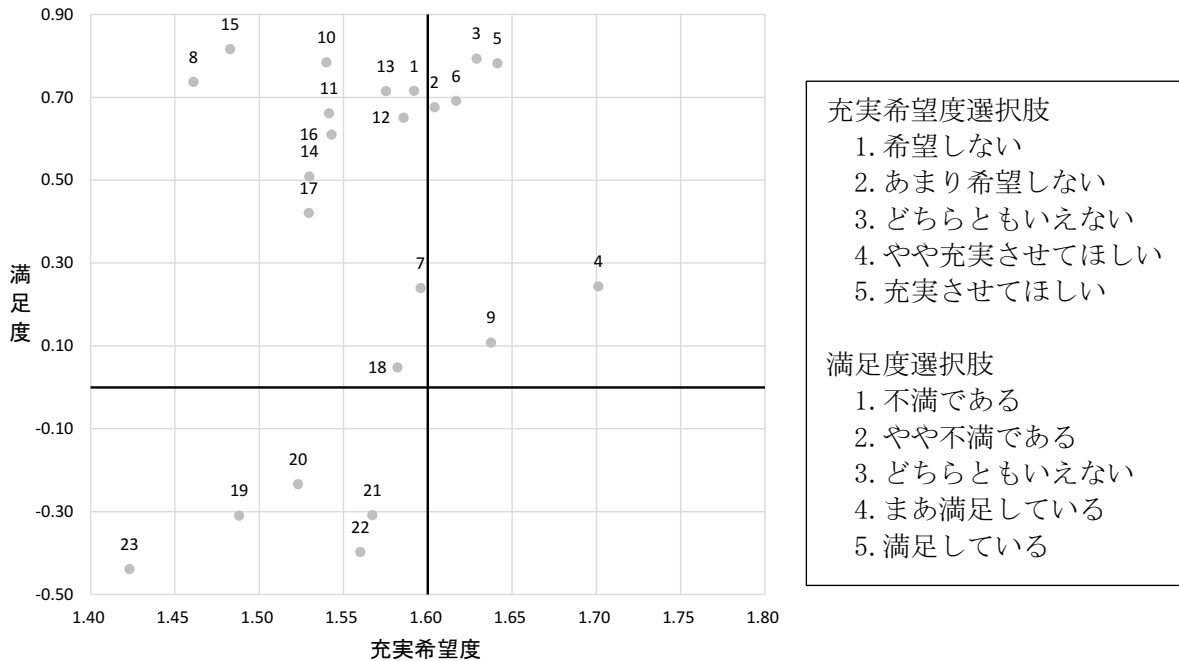


図3-5 環境に関する充実希望度・満足度

表3-1 環境に関する充実希望度・満足度

番号	項目	充実希望度	満足度
1	大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	1.59	0.72
2	土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	1.60	0.68
3	豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	1.63	0.79
4	水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	1.70	0.24
5	放射性物質による環境汚染がなく、生活環境が保全されている	1.64	0.78
6	廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	1.62	0.69
7	家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	1.60	0.24
8	エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	1.46	0.74
9	騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	1.64	0.11
10	公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	1.54	0.78
11	藤沢ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	1.54	0.66
12	安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	1.59	0.65
13	水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	1.58	0.72
14	多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	1.53	0.51
15	文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	1.48	0.82
16	学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	1.54	0.61
17	より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	1.53	0.42
18	地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	1.58	0.05
19	環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	1.49	-0.31
20	エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている	1.52	-0.23
21	環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	1.57	-0.31
22	市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている	1.56	-0.40
23	地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	1.42	-0.44

充実希望度：希望しない=-2、あまり希望しない=-1、やや充実させてほしい=+1、充実させてほしい=+2  
 満足度：不満である=-2、やや不満である=-1、まあ満足している=+1、満足している=+2として平均値を算定



## 【前回調査結果との比較】

### ・充実希望度

充実希望度は前回調査結果と比較して、全体的に低くなっていますが、全ての項目で、充実希望度は1.42以上と依然として環境における充実希望度は高い状態にあります。「水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている」、「安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている」、エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている」、「市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている」については、充実希望度は高くなっています。

### ・満足度

満足度は前回調査結果と比較して、低くなっている傾向にありますが、「豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている」については、満足度が高くなっています。

番号	項目	充実希望度		満足度	
		2021年度	2016年度	2021年度	2016年度
1	大気汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな空気が確保されている	1.59	1.72	0.72	1.05
2	土壌汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな土や地下水が確保されている	1.60	1.68	0.68	1.03
3	豊かな自然環境の保全に向けて、身近な緑が保全・再生されている	1.63	1.66	0.79	0.59
4	水質汚染の防止に向けた取組が推進され、きれいな川や海が確保されている	1.70	1.69	0.24	0.62
5	放射性物質による環境汚染がなく、生活環境が保全されている	1.64	1.71	0.78	1.05
6	廃棄物の発生抑制及び減量・資源化が推進され、循環型社会が形成されている	1.62	1.65	0.69	0.99
7	家庭における食品ロスや、事業者における食品廃棄物の削減が推進されている	1.60	-	0.24	-
8	エコバッグの活用や過剰梱包の防止など、プラスチックごみの削減に向けた取組が定着している	1.46	-	0.74	-
9	騒音・振動・悪臭の防止に向けた取組が推進され、快適な生活環境が確保されている	1.64	1.71	0.11	0.41
10	公園や緑地など新たに緑が創出され、潤いのある生活環境が確保されている	1.54	1.59	0.78	0.85
11	藤沢ならではの景観を保全するとともに、良好な景観が形成されている	1.54	1.54	0.66	0.85
12	安全・安心な食を身近で確保するための地産地消が実践されている	1.59	1.56	0.65	0.87
13	水と緑が調和した自然空間があり、四季折々の自然環境が形成されている	1.58	1.62	0.72	0.92
14	多様な生物の生息・生育環境の保全のため、今ある自然環境への配慮が十分なされ、都市環境・居住環境と豊かな自然とが調和している	1.53	1.64	0.51	0.70
15	文化財や優れた歴史的な遺産が適切に保全されている	1.48	1.58	0.82	0.90
16	学校や地域、事業所などあらゆる社会の中で、環境教育・環境学習が推進され、環境を意識した行動が広がっている	1.54	1.54	0.61	0.69
17	より多くの市民・事業者が環境への関心と意識を高く持つことで、さまざまな環境保全活動と環境美化活動が展開されている	1.53	1.57	0.42	0.75
18	地球温暖化対策について、市民・事業者・行政の力を活かした地域からの行動が進められている	1.58	1.59	0.05	0.37
19	環境に優しい都市システムによる脱炭素社会が創造されている	1.49	1.55	-0.31	0.18
20	エネルギーの地産地消を見据えた再生可能エネルギーの活用とマネジメントが行われている	1.52	1.50	-0.23	0.05
21	環境への負荷を低減し、未来へつなげる循環型社会が実現されている	1.57	1.58	-0.31	0.16
22	市民や事業者を牽引する行政の率先的取組が推進されている	1.56	1.52	-0.40	0.19
23	地球温暖化対策の取組に民間事業者を誘導する仕組みが実現されている	1.42	1.45	-0.44	0.08

問3 節電や省エネ行動として望まれる次の各行動についてお尋ねします。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。該当する機器を保有していない等の場合は、「該当しない」に○をつけてください。

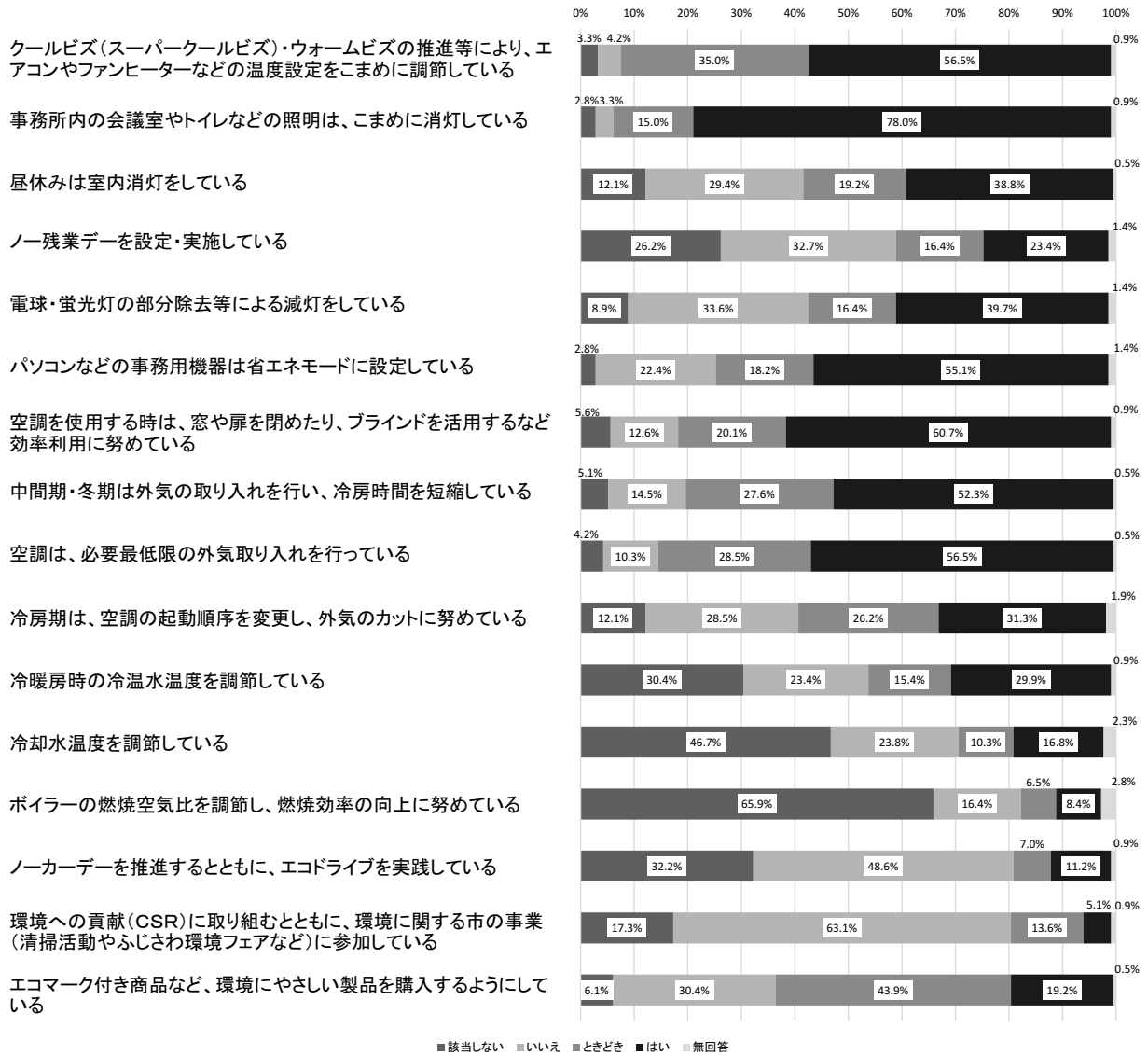


図 3-6 省エネ行動の実践状況

### 【前回調査結果との比較】

節電や省エネ行動の実施状況は前回調査と比較して、全体的に実施割合が低下している傾向にあります。「空調は、必要最低限の外気取り入れを行っている」、「冷房期は、空調の起動順序を変更し、外気のカットに努めている」については、前回調査結果よりも実施率が増加しています。

番号	項目	「ときどき」または「はい」の割合	
		2021年度	2016年度
1	クールビズ（スーパークールビズ）・ウォームビズの推進等により、エアコンやファンヒーターなどの温度設定をこまめに調節している	92%	95%
2	事務所内の会議室やトイレなどの照明は、こまめに消灯している	93%	94%
3	昼休みは室内消灯をしている	58%	60%
4	ノー残業デーを設定・実施している	40%	40%
5	電球・蛍光灯の部分除去等による減灯をしている	56%	71%
6	パソコンなどの事務用機器は省エネモードに設定している	73%	79%
7	空調を使用する時は、窓や扉を閉めたり、ブラインドを活用するなど効率利用に努めている	81%	88%
8	中間期・冬期は外気を取り入れを行い、冷房時間を短縮している	80%	80%
9	空調は、必要最低限の外気取り入れを行っている	85%	75%
10	冷房期は、空調の起動順序を変更し、外気のカットに努めている	58%	56%
11	冷暖房時の冷温水温度を調節している	45%	46%
12	冷却水温度を調節している	27%	36%
13	ボイラーの燃焼空気比を調節し、燃焼効率の向上に努めている	15%	25%
14	ノーカーデーを推進するとともに、エコドライブを実践している	18%	21%
15	環境への貢献（CSR）に取り組むとともに、環境に関する市の事業（清掃活動やふじさわ環境フェアなど）に参加している	19%	43%
16	エコマーク付き商品など、環境にやさしい製品を購入するようにしている	63%	67%

問4 問3で「いいえ」と回答した項目が1つ以上あった方にお尋ねします。取り組めていない理由について、最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

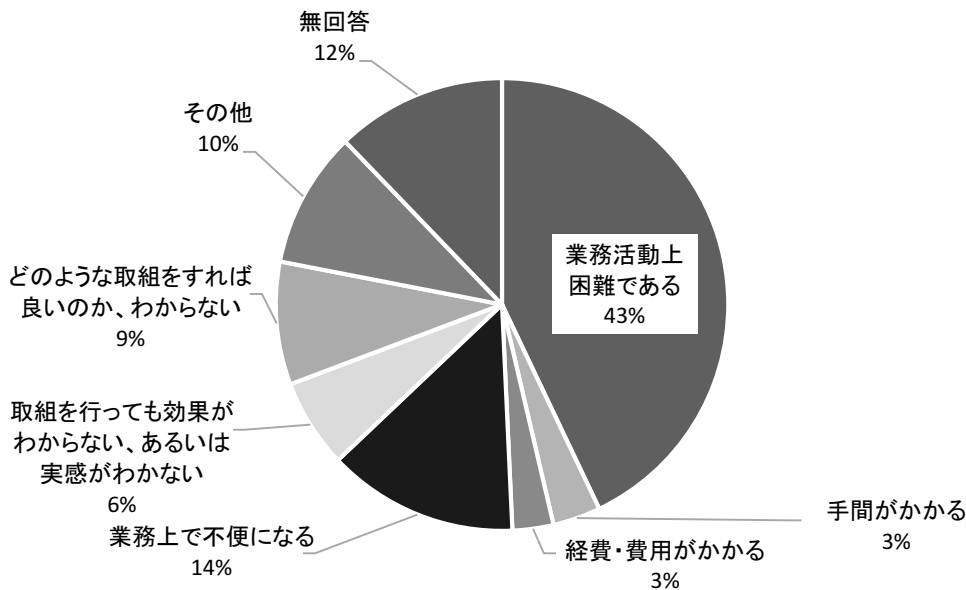


図 3-7 省エネ行動に取り組めていない理由

「その他」回答内容

内容
コロナウイルス感染対策で換気行っているため
支給品がほとんどのため
取組をしてもあまり意味がない、インパクトが少ないため
コロナ下で、感染防止上、全員公共交通機関を使用しない様になっている
開けた場所で商売をしているため

【前回調査結果との比較】

節電や省エネ行動に取り組めていない理由は前回調査と同様に、「業務活動上困難である」が最も割合が大きくなっています。前回調査から項目を追加した「業務上で不便になる」、「どのように取組をすれば良いのか、わからない」の回答割合は、14%、9%でした。

番号	項目	回答割合	
		2021年度	2016年度
1	業務活動上困難である	43%	45%
2	手間がかかる	3%	5%
3	経費・費用がかかる	3%	4%
4	業務上で不便になる	14%	-
5	取組を行っても効果がわからない、あるいは実感がわからない	6%	13%
6	どのような取組をすれば良いのか、わからない	9%	-
7	その他	10%	10%
8	無回答	12%	22%

問5 貴事業所が省エネ行動や温室効果ガス削減の取組を行う理由をお尋ねします。あてはまる番号をすべて○で囲んでください。

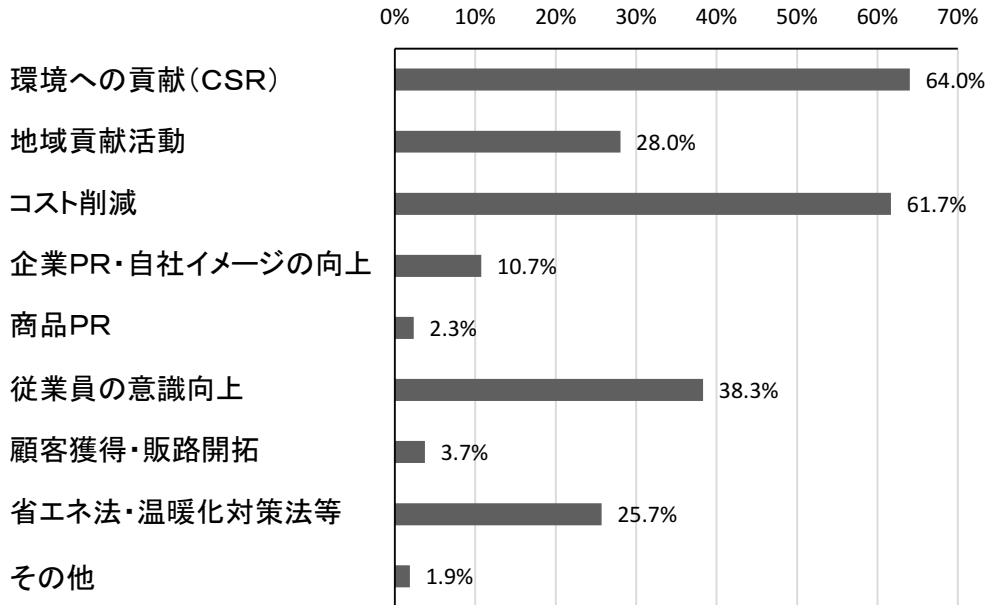


図 3-8 省エネ行動・温室効果ガス削減を行う理由

「その他」回答内容

内容
本当の意味でエコロジーな行動はするが、手間を増やしてコスト増になる、意味のない対策はしない
ビル自体の取組

問6 省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況についてお尋ねします。最もあてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

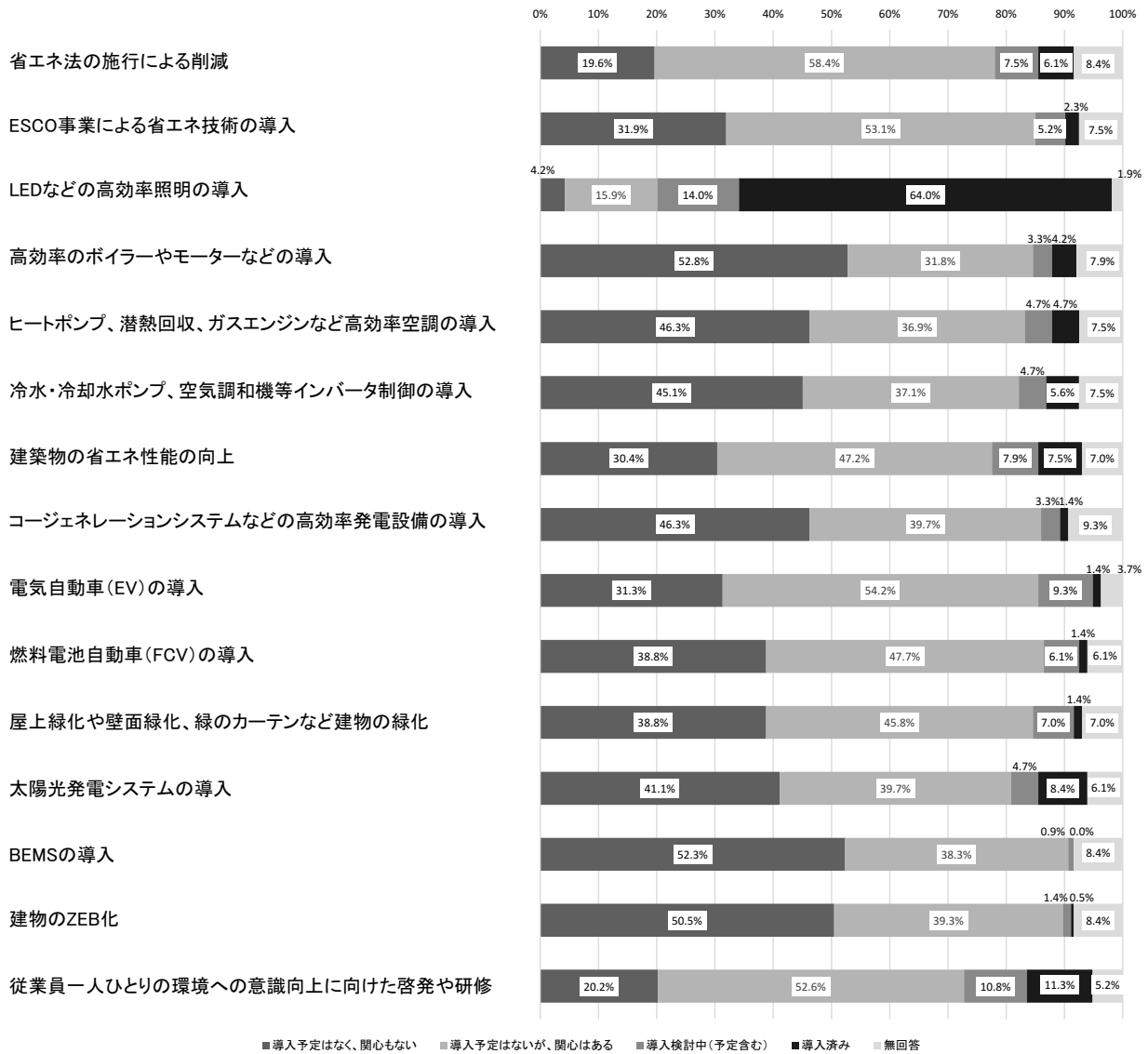


図 3-9 省エネ設備・再生可能エネルギーの導入状況

### 【前回調査結果との比較】

省エネ設備や再生可能エネルギーの導入状況は前回調査と比較して、全体的に導入済みの回答割合は低下している傾向にあります。「LED などの高効率照明の導入」、「太陽光発電システムの導入」、「建物の ZEB 化」の回答割合は前回調査よりも増加していました。

番号	項目	「導入済み」の割合	
		2021年度	2016年度
1	省エネ法の施行による削減	6%	22%
2	ESCO事業による省エネ技術の導入	2%	4%
3	LEDなどの高効率照明の導入	64%	49%
4	高効率のボイラーやモーターなどの導入	4%	13%
5	ヒートポンプ、潜熱回収、ガスエンジンなど高効率空調の導入	5%	12%
6	冷水・冷却水ポンプ、空気調和機等インバータ制御の導入	6%	17%
7	建築物の省エネ性能の向上	8%	10%
8	コージェネレーションシステムなどの高効率発電設備の導入	1%	5%
9	電気自動車 (EV) の導入	1%	5%
10	燃料電池自動車 (FCV) の導入	1%	1%
11	屋上緑化や壁面緑化、緑のカーテンなど建物の緑化	1%	12%
12	太陽光発電システムの導入	8%	7%
13	BEMSの導入	0%	5%
14	建物のZEB化	1%	0%
15	従業員一人ひとりの環境への意識向上に向けた啓発や研修	11%	26%

問7 今後の藤沢市が行う様々な環境行政施策についてお伺いします。行政が、特に優先して取り組むべき施策は、何だとお考えですか。特にあてはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

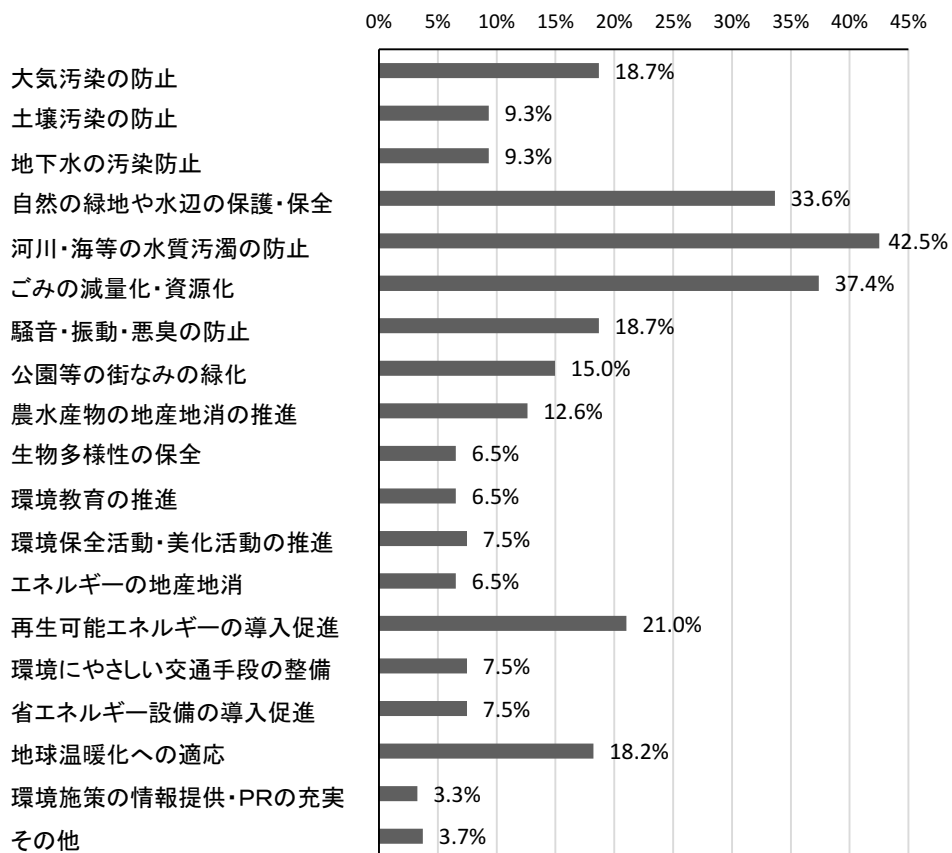


図 3-10 優先して取り組むべき施策



問8 気候変動の影響への「適応」についてお尋ねします。あなたはこの「適応」という言葉を知っていましたか。あてはまる番号を1つ選んで○で囲んでください。

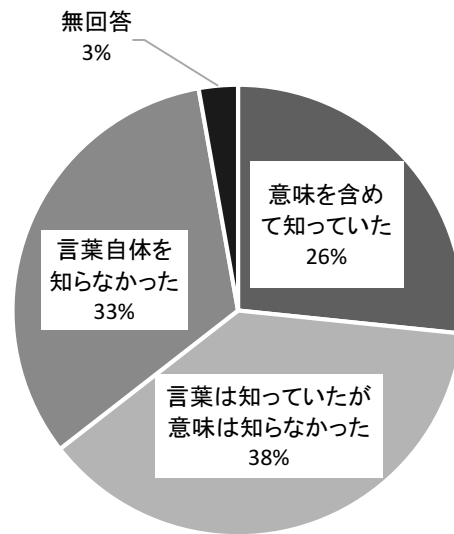


図 3-11 気候変動の影響への「適応」の認知度

問9 藤沢市において、既に温暖化の影響を受けていると感じるものについてお尋ねします。  
 あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

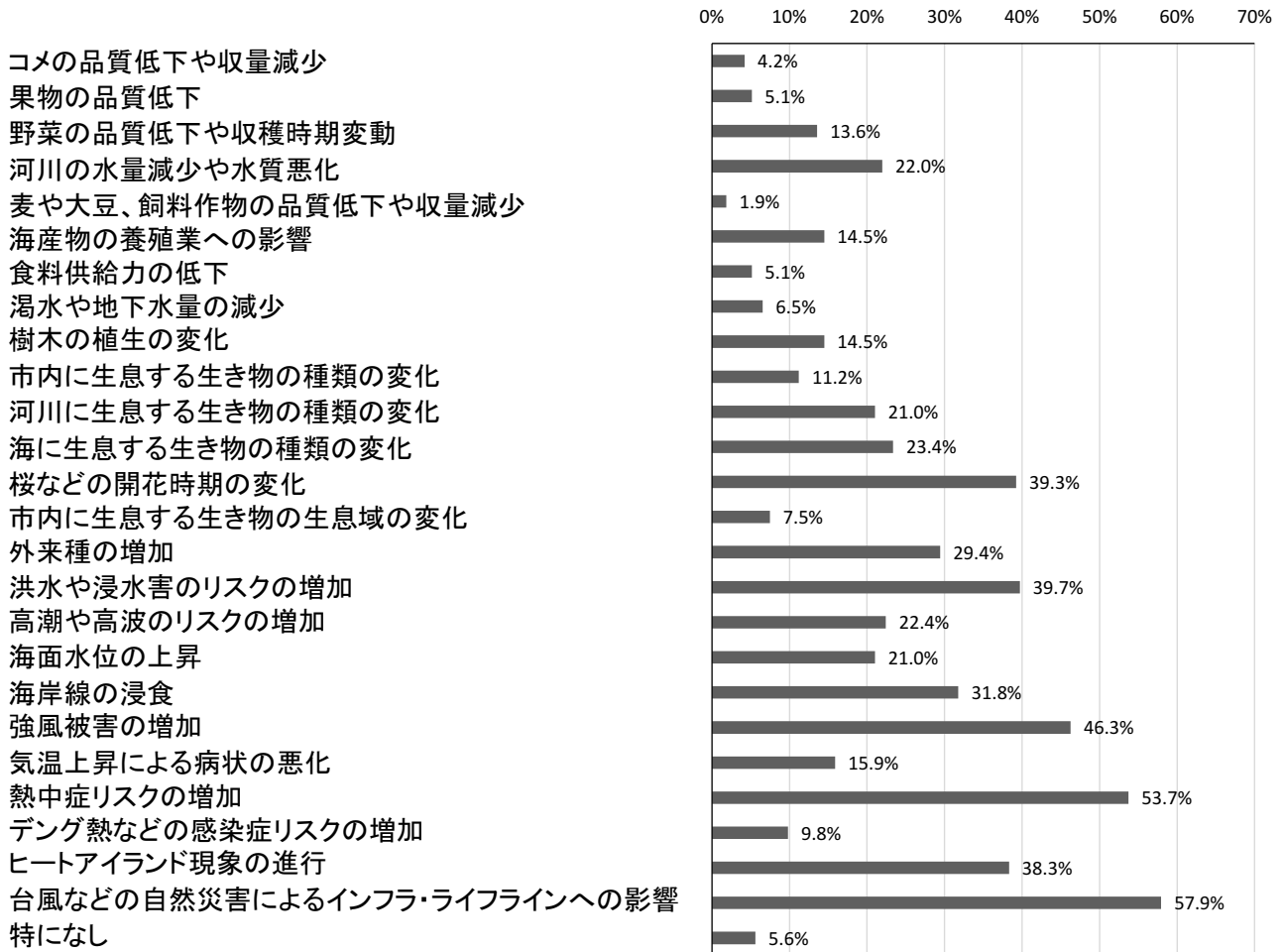


図 3-12 藤沢市における気候変動の影響

問 10 藤沢市で今後、重点的に対策していくべき事項についてお尋ねします。あてはまる番号をいくつでも選んで○で囲んでください。

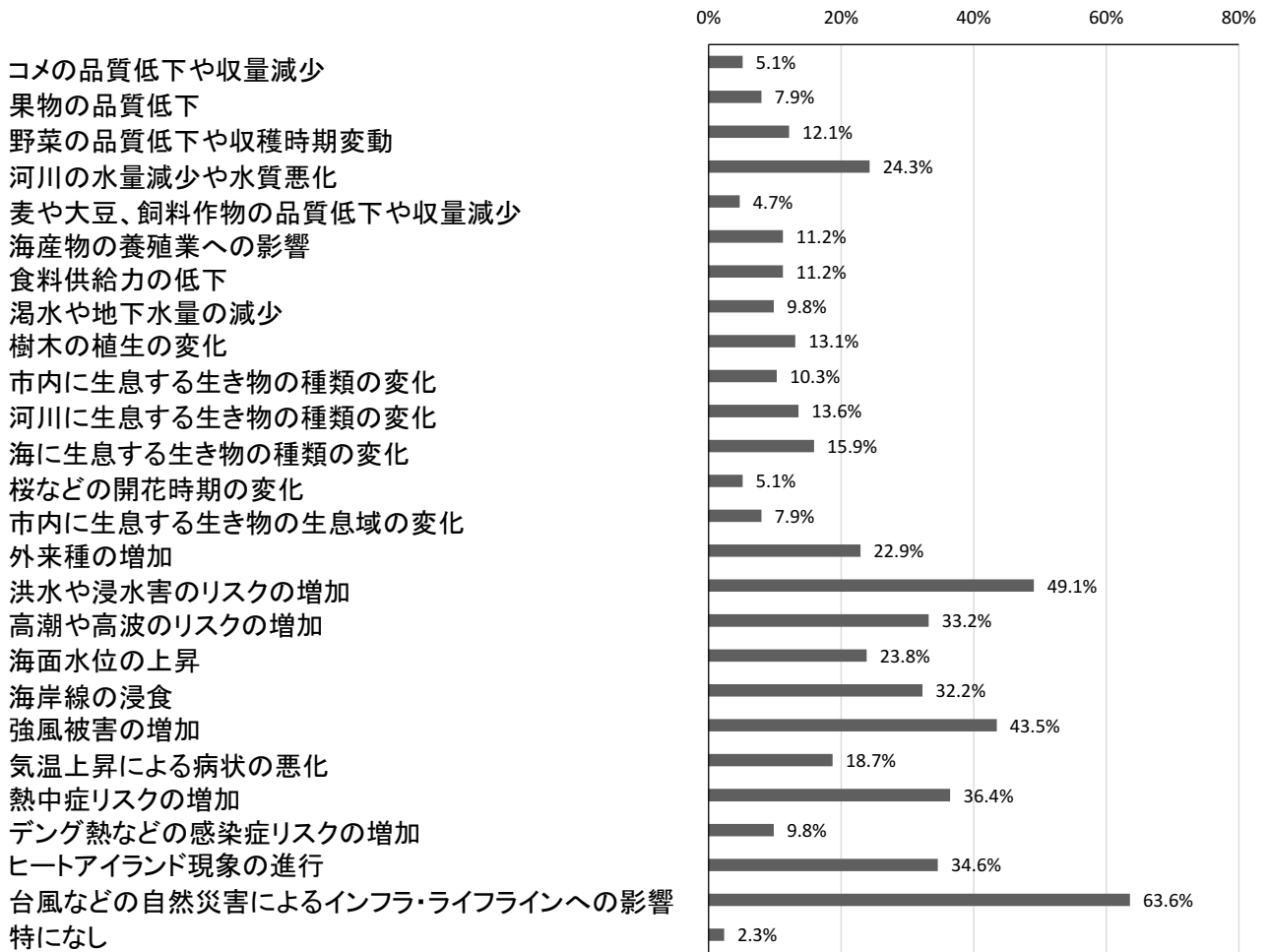


図 3-13 重点的に対策すべき影響

問 11 どの媒体で情報提供を行うとわかりやすいですか。最も当てはまる番号を3つまで選んで○で囲んでください。

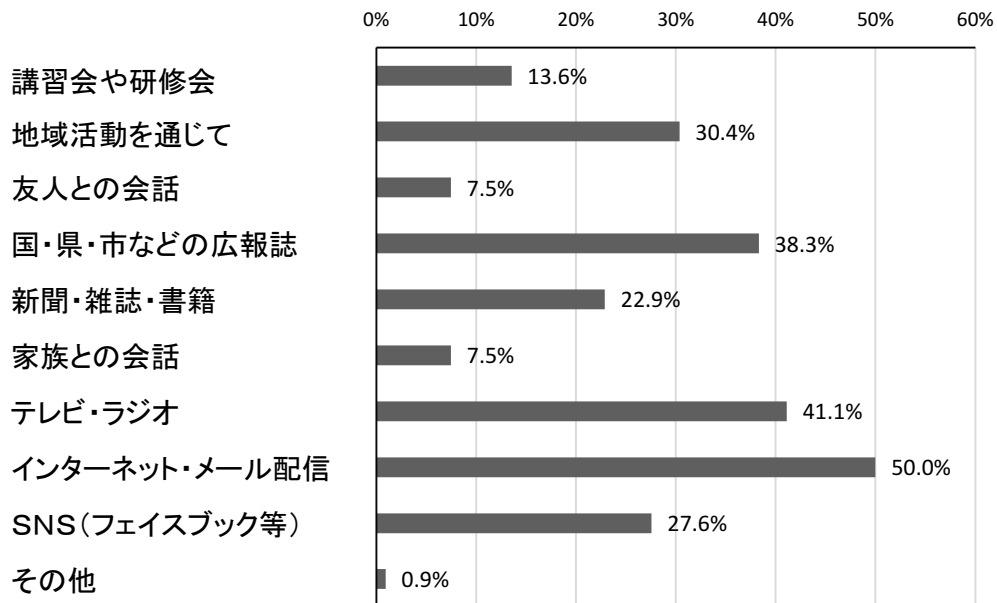


図 3-14 わかりやすい情報提供の方法

「その他」回答内容

内容
商工会議所
You Tube

問 12 最後に藤沢市の環境行政へのご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

※環境に関連する内容のみを抜粋し、要約した内容を記載しています。

### 回答内容

項目	内容
自然環境	自然という地盤をシンプルに考え直し長期的な循環を念頭に置いた政策を行ってほしい
	外来種生物等の対応についてももしっかり取組んでほしい
	街路樹等や大きな木を植えるなど又それを整備する予算化等の取組をしっかりしてほしい
	緑地が減少しているため条例を作るべき
	海中のプラスチック削減についても河川が海に流れ込む前に回収処理する設備を整える事が大事だと思う
不法投棄	海域への不法投棄が見られるため、対策を行ってほしい
景観	学校教育等、地域との協力で河川の清掃に取組んでほしい
環境教育	子どもへの環境教育をしっかり行ってほしい
協働	環境整備になれば協力していく事が藤沢のためになると思う
	市民間での精神としてお互いを尊重できる風土づくりを行ってほしい
	市民一人ひとりの環境への意識の醸成を図ってほしい
交通	バス路線の少ない区間にコミュニティバスがあるとよい
災害対策	集中豪雨や大型台風、大地震、津波への対策をして欲しい
	強風による海からの飛砂対策を行ってほしい
温暖化対策	再生可能エネルギー等の温暖化対策は複雑化やコスト増が大きくトータルでの環境改善に繋がっていると思えない
	脱炭素、脱原発社会の実現に向け、環境、教育、文化の独自のモデルを示し、それに向け長・中・短期の目標を設定してほしい
	ブルーカーボンなどの海の環境問題をアピールすべき
	木の伐採は特に注意をし広い公園には大きくなる木を植える等をして炭酸同化作用を充実させる取組をして欲しい
公害	航空機の騒音の基準は守られているのでしょうか
	漁港での野焼きの対策を行ってほしい
	合流式下水道の整備を進めてほしい
情報共有	市民が情報を知る機会を作ってほしい
	行政の取組が市民に伝わってない
	行政の発信インターフェースとして若年層になじみのあるものを利用してほしい
その他	海外の方の土地所有を制限等で守られればいいと思う
	部や課を越えてデータを共有し、有効活用してほしい
	市役所のエスカレーターを人感式等にしてほしい
	環境行政と言うばかりで現実を注視されておらず毎年対応されていない
	ボランティアで草刈りをしています毎年必要となる環境整備の予算が適正になっていない
	公共施設に環境に優しい素材（漆喰・珪藻土等）を取り入れてほしい
科学的データに基づく取組を希望する	